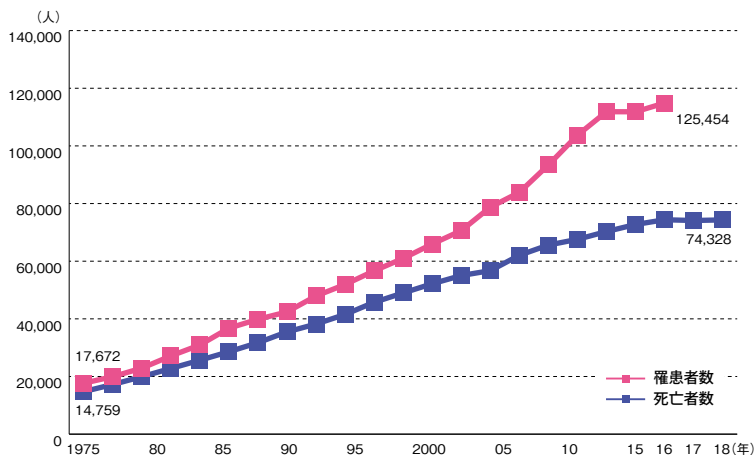


2 数字でみる肺がん

肺がんは1993年に男性のがん死亡の1位に、98年からは男女合わせたがん死亡のトップとなっています。1960年に約5000人だった肺がんの死亡者は、98年に5万人を超え、2018年は7万4328人（男性5万2401人、女性2万1927人）になりました。毎年新たに診断される肺がんの罹患患者数は2016年が12万5454人（男性8万3790人、女性4万1634人）でした。2019年の予測肺がん罹患数は122,300人（男性82,700人 女性 39,900人）、予測肺がん死亡者数は76,600人（男性 54,400人、女性 22,200人）でした。肺がんの罹患数も死亡数も男性の方が女性より多くなっています。肺がんは高齢者に多く、人口全体の高齢化が、罹患数、死亡者数の増加につながっています。肺がんの最も重要な危険因子は喫煙ですが、近年の喫煙率の低下と様々な治療法の進歩があり、年齢を調整した死亡率は減少傾向にあります。

●肺がんの罹患患者数と死亡者数の推移



罹患患者数は全国がん登録、地域がん登録全国統計から作成
死亡者数は厚生労働省人口動態統計(2018年)から作成